

広島大学における教育関係共同利用拠点の取り組み 過去5年間の総括

練習船豊潮丸運営委員長
練習船豊潮丸共同利用協議会議長
坂井 陽一

1. 教育関係共同利用拠点認定に至るまでの練習船豊潮丸における里海洋上教育のあゆみ

瀬戸内海は本州、四国、九州に囲まれた我が国最大の内海で、平均水深40メートルの浅く広大な面積を占める多島海である。この海域が中国・四国地方にもたらす温暖な気候は、古代から多くの人を沿岸に集め、さらに豊かな海の恵みを人々に与えることによって独自の地域文化の発達を促してきた。すなわち瀬戸内海は、第3次生物多様性国家戦略の中で定められている典型的な「里海」である。広島大学生物生産学部附属練習船豊潮丸は、過去25年以上にわたり、この里海を主たるフィールドとして、広島大学学生を対象とした航海の実施のみならず、他大学学生を対象とする単独及び混乗による実習航海を提供する共同利用実績を積み重ねてきた。

豊潮丸は、中国四国地域で唯一、瀬戸内海全域を実習海域として活躍する中型練習船である（平成18年11月竣工、256国内総トン、教員・学生定員20名）。母港を置く呉市は、瀬戸内海のほぼ中央に位置し、数多くの「瀬戸」と「灘」を有する備讃瀬戸、燧灘、安芸灘、周防灘をホームグラウンドに、さらには瀬戸内海の環境に影響を与える豊後水道へも短時間でのアクセスが可能な条件にある。さらに、呉の練習船基地には、繫留設備に加え、教室と実験室が整備されており、洋上教育を補完する講義や実習を行なうことができる。「水産学・海洋学」に関する学習のみならず、「人間による水産物の消費過程までも視野に入れた水産資源全般」に関する教育、「里海が人間に与える多様な生態系サービス」の啓蒙、人間との結びつきが強いがゆえに生じる「環境問題」や瀬戸内海の島々の第一次産業に起きている「社会経済学的な問題」、さらには「島しょ部の文化・歴史的背景」をも理解させることを目的に、航海実習・演習プログラムを整備し、「里海」の価値と直面する問題の双方に精通した人材を全国規模で育成することを目指してきた。

豊潮丸の大学間連携の歴史は、昭和61年度から現在まで実施してきた高知大学による単独利用航海に始まる。単独利用航海とは他大学の学生のみが指導教員とともに豊潮丸に乗船し、実習教育航海を受講できるものである。この高知大学の航海に加えて、平成16年度からは中四国地区の8大学を対象にした他大学向けの混乗航海「里海フィールド演習」を開講し、現在まで継続的に取り組んでいる。混乗航海とは、他大学の学生と本学の学生と一緒に乗船可能とする航海であるが、他大学向け混乗航海は他大学学生を優先して乗船者を募るものである。さらに、平成23年度からは、福山大学による単独航海、香川大学の単独航海（平成25年度までは暫定的に混乗航海形態で実施；平成26年度から単独航海化）、および他大学向け混乗航海として「教育ネットワーク中国」への提供科目である「瀬戸内海の恵みと現状を学ぶ洋上里海総合演習」をスタートさせた。

これらの他大学向けの5航海を中心に位置付けた運航計画を策定しつつ、さらに広島大学学生向けの航海における定員余席を他大学学生にも公開し、利用可能とすることで、豊潮丸の共同利用を促進させてきた。

2. 教育関係共同利用拠点認定に伴う教育への取り組みと受講生数の推移

平成 24 年に「教育関係共同利用拠点」として文部科学大臣の認定を受けた。これを契機として、1) 豊潮丸における里海教育機能をさらに充実させ、2) 共同利用体制をより強化することによって、他大学学生への教育機会を拡大するための取り組みを進めてきた。

教育関係共同利用拠点認定後は、上述した大学間連携による 5 航海（3つの単独航海と 2つの他大学向け混乗航海）を最重要航海と位置づけてきた。いずれも単位認定を伴う教育課程上の実習あるいは演習として提供するものである。

まず単独航海を紹介し、具体的な取り組みを説明する。単独航海は、利用大学のカリキュラムに組み込まれ（単位認定科目：教育の場として利用）、継続的な計画的利用を保証することにより、利用大学の教育効果を格段に向上させる制度である。

【単独航海】

利用大学	実習科目名	開始年度	航海海域	乗船者数	航海日数	航海予定日	予備日
高知大学 農学部	海洋観測実習	平成 16 年度	土佐湾	25~30 名	5 日	5 月 30 日から 6 月 3 日まで	6 月 6 日から 6 月 10 日
福山大学 生命工学部	フィールド 生態環境学実習	平成 23 年度	瀬戸内海、 芸予瀬戸、 備後灘	30~36 名	4 日	6 月 15 日から 6 月 18 日まで	6 月 22 日から 6 月 24 日
香川大学 農学部	環境科学 実践実習	平成 26 年度 (平成 23-25 年度は 混乗航海で実施)	瀬戸内海、 紀伊水道	10~15 名	6 日	9 月 25 日から 9 月 30 日まで	平成 28 年度 は設定なし

1) 高知大学単独航海

農学科海洋生物生産学コースの学部生を対象にした乗船実習であり、「実習を通じて、一般的な海洋観測技術ならびに知見を習得する」ことを目的に、土佐湾で毎年継続的に実施している。豊潮丸を高知港に回航させて本実習を実施している。

2) 福山大学単独航海

生命工学部の学部生を対象にした乗船実習であり、「一般的な海洋観測技術ならびに知見を習得する」ことを目的に、尾道周辺の瀬戸内海で実施している。豊潮丸を尾道港に回航させて本実習を実施している。

3) 香川大学単独航海

香川大学は平成 23 年度から平成 25 年度まで、農学研究科の大学院生を対象にした「観測・調査手法と解析法の取得」を目的とした単独航海に相当する乗船実習を、暫定的に混乗航海形式で実施してきた。平成 26 年度からは、農学部の学部生を対象にした単位認定を伴う単独航海へと正式に移行した。植物プランクトン群集変化および栄養塩濃度等の変化の観測を通じ、「瀬戸内海の湾灘ごとの基礎生産構造の相違に関する知見を習得する」ことを目的とするものである。豊潮丸を高松港に回航させて本実習を実施している。

次に他大学向け混乗航海を紹介し、それらの取り組みについて説明する。他大学向け混乗航海としては、「里海フィールド演習」と「瀬戸内海の恵みと現状を学ぶ洋上里海総合演習」を実施している。いずれも他大学の学生が本学教員とともに乗船し、多大な教育効果をあげている。今後も豊潮丸の共同利用航海の中心的取り組みとして内容を充実化させ、更なる利用者の拡大を目指す。

【他大学向け混乗航海】

演名/海域	定員	実施時	航海日数
里海フィールド演習（2単位）／広島湾	15～18名	8月	3日
瀬戸内海の恵みと現状を学ぶ洋上里海総合演習／瀬戸内海西部	10～15名	6月	4日

4) 「中国・四国地区大学間連携フィールド演習」航海（里海フィールド演習）

本演習航海は、本学、岡山大学、県立広島大学、鳥取大学、山口大学、島根大学、愛媛大学、香川大学、高知大学、徳島大学の学部生を対象に、中国・四国地区国公立大学農学系相互間における単位互換に関する協定書（平成17年2月28日締結、平成28年11月30日徳島大学加盟により更新締結）に基づき各大学が開講するフィールド演習の一つとして開講しているものである。加盟大学からの公募によって参加者を募り、本学陸上教員と海事職教員等の連携の下に実施している。本航海は、中長期的な利用計画に基づき平成16年度から毎年実施している。

5) 「教育ネットワーク中国」航海（瀬戸内海の恵みと現状を学ぶ洋上里海総合演習）

水産・海洋系以外の大学・学部・学科の学生を対象に、一つの航海の中で瀬戸内海の海の恵みと水産業の実態を広く学習することのできる演習として本航海を実施している。教育ネットワーク中国からの公募により参加を募り、平成23年度から毎年開講し、本学陸上教員と海事職教員等の連携の下に実施している。

なお、「教育ネットワーク中国（一般社団法人）」は広島大学の他、公立、私立大学、短期大学、高等専門学校、24校（本学、エリザベト音楽大学、近畿大学工学部、県立広島大学、山陽女子短期大学、鈴峯女子短期大学、比治山大学、比治山大学短期大学部、広島経済大学、広島工業大学、広島国際学院大学、広島国際大学、広島修道大学、広島女学院大学、広島市立大学、広島文化学園大学、広島文化学園短期大学、広島文教女子大学、安田女子大学、安田女子短期大学、呉工業高等専門学校、島根県立大学、広島都市学園大学、羽衣国際大学）が単位互換科目を提供し合うネットワークであり、所属する学生が提供された単位互換科目を自由に履修できることにより大学間連携を推進している。農学分野として科目提供している大学は、本学生物生産学部のみである。

これらの5航海の他にも、他大学学生の共同利用を可能とする仕組みとして、学内向け混乗航海の乗船余席を活用してきた。学内向け混乗航海は、本学学生を優先して乗船者を募るものであり、定員20名に満たない場合に余席として学外者の乗船を可能とするものである。多くの学内向け航海（すべての調査実習航海と約半数の教育実習航海）を混乗航海として設定している。学内向け混乗航海の余席利用においては、乗船学生の学部卒業論文、大学院修士・博士論文作成のための発展的な研究教育面での貢献を果たしている。これら本学学生・他大学学生の双方に配慮した航海を中心とした運航計画の策定に取り組み、共同利用の実績を重ねてきた。

練習船の運航計画は、安全な運航が確保されるよう厳格な運航管理のもと策定されている。船員法上、乗組員は年次有給休暇を全て取得することが義務付けられているため、年間で稼働できる日数は整備航海（ドック）25日を除き、計画上は155日が限界である。

正規の授業科目として練習船を活用するため、大学間連携の単独航海には荒天で出航できなかった場合に備えた予備日を年間運航の計画時にあらかじめ設けている。また、遠洋航海では、寄港後から次の出航までに1日以上準備期間を設けることを安全上の原則としている。

豊潮丸は教育関係共同利用拠点としての機能整備を目指した取り組みを平成22年度に始

めた。以後、平成 24 年度以降を「教育拠点認定期」、平成 22-23 年度を「拠点準備期」、平成 19-21 年度を「共同利用体制強化前」と、便宜的に表現する。

【豊潮丸の運航日数および航海数と他大学共同利用】

	共同利用体制強化前			拠点準備期		教育拠点認定期			
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
運航計画日数 (整備航海含まず)	145	144	144	144	141	147	151	152	152
年間運航実績日数 (整備航海含まず)	145	140	138	137	141	147	146	150	150
うち他大学利用のべ日数 及びその割合 (%)	61 (42)	65 (46)	61 (44)	72 (53)	84 (60)	70 (48)	74 (51)	72 (48)	81 (54)
年間航海実績件数	30	26	28	29	32	38	38	38	38
うち他大学利用件数 及びその割合 (%)	10 (33)	9 (35)	10 (36)	14 (48)	16 (50)	13 (34)	16 (42)	16 (42)	16 (42)
定員充足率：% (総乗船者数/ 総定員数)	81.9 (565/690)	86.5 (514/594)	83.8 (502/599)	85.1 (554/651)	85.3 (656/769)	82.0 (673/821)	82.0 (754/919)	84.8 (734/866)	83.2 (673/809)

豊潮丸の運航計画は 2 カ年前に航海希望を募り、翌年に計画を完成させる手順を厳守している。その事情のため、運航日数を拡大させた運航計画づくりは平成 22 年度より策定の取り組みを進めたものの、その後、運航日数の増加は平成 24 年度より実現した。

「共同利用体制強化前」から「拠点準備期」までの 5 年間の運航データにおいては、年間 140 日程度の航海実績日数であり（最多でも 145 日）、他大学向け航海は年間約 30 件を実施していた。

「教育拠点認定期」（平成 24 年度以後現在まで）においては、他大学からの共同利用を増やす試みから、年間およそ 150 日程度の運航計画を立案し、他大学共同利用向け航海件数を 38 件に拡張させ、以後その水準を維持してきた。なお、平成 25 年度は運航実績日数がやや少ないが、これは台風接近により止むを得ず中止を決断した航海が生じたためである。

定員充足率（船舶法上の乗船定員に対する実乗船人数の割合）については、「教育拠点認定期」と「拠点準備期」ではほぼ同等の 85% 程度を維持しており、「教育拠点認定期」においても同水準の定員充足率（20 名定員でおよそ 3 名の余席）となっている。

他大学の共同利用航海が占める割合については、「共同利用体制強化前」（平成 19～21 年度）には運航日数全体の約 4 割（およそ 60 日）、総航海数の約 3 割（10 航海）であった。

「拠点準備期」（平成 22～23 年度）において、共同利用航海の拡張化への試行的な取り組みを進め、他大学による共同利用航海をのべ 70 日以上、航海件数を以前の 1.5 倍増のおよそ 15 件を実施した。この試行成果による大学間連携ネットワークの構築が、以後の本船の共同利用航海活動の基盤となっている。

「教育拠点認定期」（平成 24 年度以後）においても、他大学による共同利用を継続的に推進するべく、のべ 70 日を越える共同利用航海実績日数（運航実績日数全体の約 50%）、およそ 15 件の共同利用航海（全航海の約 40%）を実施し、高い定員充足率を維持してきた。

【豊潮丸へののべ乗船者数の内訳と推移（2007年から2015年のデータ）】

（単位：人）*（ ）内は実人数

	共同利用体制強化前			拠点準備期		教育拠点認定期			
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
広島大学	1571 (346)	1674 (330)	1447 (314)	1385 (302)	1385 (333)	1300 (351)	1450 (420)	1552 (393)	1414 (369)
うち学部生・大学院生	1305 (264)	1387 (278)	1190 (271)	1093 (245)	1144 (281)	1076 (299)	1141 (338)	1233 (307)	1163 (298)
他大学	350 (93)	354 (85)	368 (92)	506 (123)	558 (151)	586 (133)	468 (169)	518 (193)	499 (148)
うち学部生・大学院生	242 (78)	232 (69)	273 (77)	380 (102)	452 (130)	397 (101)	373 (143)	399 (159)	422 (128)
大学外（研究機関等）	379 (126)	259 (99)	332 (96)	272 (129)	347 (172)	362 (189)	314 (165)	270 (148)	298 (156)
総乗船者数	2300 (565)	2287 (514)	2147 (502)	2163 (554)	2290 (656)	2248 (673)	2232 (754)	2340 (734)	2211 (673)

豊潮丸への乗船者数については、「共同利用体制強化前」の年間利用者数は、およそのべ2,200名（実人数502～565名）であった。そのうちの他大学学生の年間利用者数は、およそのべ250名程度（実人数69～78名）であった。

共同利用航海の拡張への取り組みを進めた「拠点準備期」と「教育拠点認定期」においても、総乗船者数はのべ2,200～2,300名とコンスタントであるが、その実人数に関しては「教育拠点認定期」において700名前後の水準に増加している。これは「教育拠点認定期」において、多様な乗船者を迎え入れる工夫が反映されてきた実績と想定される。

また、他大学学生の利用者数についても、「教育拠点認定期」にはのべ400名前後（実人数101～159名）と、「共同利用体制強化前」の1.6倍増のレベルまで拡大させ、その水準を維持している。なお、この共同利用強化への取り組みを進めてきた期間においても、本学学生の乗船利用者数と研究機関等の共同利用者数をほとんど低下させておらず、多角的な利用者が共存できる共同利用体制を維持している。

【大学間連携による共同利用5航海の学生受講者のべ数の推移】

（カッコ内は実人数；空欄は未開講）

	共同利用体制強化前			拠点準備期		教育拠点認定期			
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
瀬戸内海の恵みと現状を学ぶ洋上里海総合演習					28 (7)	40 (10)	64 (16)	32 (8)	52 (13)
里海フィールド演習	56 (28)	48 (24)	50 (25)	56 (28)	34 (17)	32 (16)	36 (18)	36 (18)	39 (13)
福山大学単独航海					28 (28)	26 (26)	39 (39)	42 (42)	27 (27)
高知大学単独航海	58 (29)	58 (29)	52 (26)	54 (27)	58 (29)	台風により中止	58 (29)	56 (28)	48 (24)
香川大学単独航海					44 (11)	32 (8)	22 (11)	16 (8)	26 (13)
合計	114 (57)	106 (53)	102 (51)	110 (55)	192 (92)	130 (60)	219 (113)	182 (104)	192 (90)

他大学学生による共同利用の中心的航海である大学間連携による5航海における乗船者数については、その航海ラインナップが揃った平成23年度以降、台風接近により高知大学の単独航海が中止となった平成24年度を除き、およそ年間のべ200名の他大学学生（実人数約100名）が乗船している。これは、豊潮丸の他大学学生利用者数の増加をもたらした大きな要因である。

なお、大学間連携による5航海においては、平成24年度の高知大学単独航海中止を教訓として、1)海況の安定した時期にあらかじめ航海スケジュールを優先的に配置すること、2)悪天候に対応した予備日を運航計画に設定すること、の2点に配慮した運航計画の策定を平成25年度より実施し、以後、すべての航海を実施することに成功している。

また、学内向けの混乗航海への余席利用による他大学学生の乗船共同利用者数においては、「共同利用体制強化前」にはおよそそのべ250名程度（実人数16～26名）のレベルであった。共同利用航海の拡張への取り組みを進めた「拠点準備期」および「教育拠点認定期」では、年による変動幅が大きいものの、およそ1.5倍増となる年間のべ300～400名（実人数30～55名）の乗船利用者数に拡大している。

【学内向け混乗航海の余席利用による他大学学生のべ乗船人数】

（カッコ内は実人数）

共同利用体制強化前			拠点準備期		教育拠点認定期間			
H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
236	248	266	396	366	456	249	336	307
(21)	(16)	(26)	(47)	(38)	(41)	(30)	(55)	(38)

3. 過去5年間に共同利用航海へ乗船・受講した学生の意見

共同利用航海への乗船学生のアンケート調査においては、航海実習内容への高い満足度を得ることができている。下表に示したデータは、2つの他大学向け混乗航海（「瀬戸内海の恵みと現状を学ぶ洋上里海総合演習」と「里海フィールド演習」）のアンケート結果を抜粋したものであるが、いずれにおいても、受講生の期待に応えた教育内容を提供できていること、十分な教育指導力を発揮できていること、受講生のさらなる学習意欲を向上させる効果を与えることができていることが伺える。また、自由記述事項には、「船が大きく揺れず酔いせずに快適に過ごせたこと」、「自分の手で生き物を採集し、自分の足で実際に見て生物や地域の様子を感じることができたこと」、「普段できない経験ができたこと」などの満足点が挙げられており、里海をフィールドとした実感教育を提供する演習プログラムの狙いが結実していると言える。

【他大学向け混乗航海「瀬戸内海の恵みと現状を学ぶ洋上里海総合演習」における乗船者アンケート結果（抜粋）】

平成26年度、平成27年度の受講生（それぞれ8名、13名）の集計結果
（平成25年度は自由記述式のアンケート実施につき集計から除く）

質問項目	回答（合計21名）	
受講動機について	内容への強い関心と興味	86 %
所属大学の異なる学生間の交流について	よかった	81 %
実習スケジュールについて	よかった	100 %
教員・船員の説明、指示、指導について	大いによかった	100 %
演習全体の感想について	よかった	95 %
演習の実施継続について	次年度以降も継続したほうが良い	95 %
知り合いに受講を進めるか	勧める	95 %

【他大学向け混乗航海「里海フィールド演習」における乗船者アンケート結果（抜粋）】

平成 25 年度、26 年度、平成 27 年度の受講生（それぞれ 18 名、18 名、13 名）の集計結果

*本演習における実習は豊潮丸と水産実験所がともに実施する構成となっている

質問項目	回答（合計 49 名）	
所属大学の異なる学生間の交流について	よかった	100 %
受講効果：これからの学習意欲について	高まった	96 %
実習の満足度について*	よかった	100 %
演習全体の満足度について	よかった	94 %
演習の実施継続について	次年度以降も継続したほうが良い	98 %

また、学内向け混乗航海の余席利用による他大学乗船者へのアンケート調査においては、乗船目的を研究活動とする回答が大勢を占め、実習生（公募）として乗船したケースが存在しない現状が明白となっている。また、乗船経緯については、すべてのケースが主催教員の提供情報によるものであり、豊潮丸ホームページを介した公募情報の入手をきっかけとしたケースが存在しないことを示している。乗船回数については、約半数が初乗船という回答であり、混乗航海が他大学共同利用の窓口として活用されていることが伺える。

このアンケート結果は、豊潮丸の共同利用のさらなる推進につながる課題と伸びしろが「学内向け混乗航海」に存在することを示すものと言える。

【学内向け混乗航海の余席利用による学外乗船者へのアンケート結果（抜粋）】

質問項目	回答（合計 93 名）		
乗船目的について	研究 86 %	実習 0 %	その他 14 %
乗船経緯について	主催教員の勧誘 100 %	WEB 情報 0 %	
乗船回数について	初めて 48 %	2 回目以上 52 %	

4. 教育効果

練習船豊潮丸は、平成 24 年度からの教育関係共同利用拠点の認定を受け、「洋上里海教育」をキーワードとして、その用語に含まれる多面的な学問要素を反映させることを目標に航海教育活動を進めてきた。水産学・海洋学とは異なる専門分野、例えば人文・社会科学分野を専攻する他大学の学生にとって、乗船体験そのものや、海上からの目視、船上で実体験するすべてが、貴重な教養教育的実習の場となる。そのことを教育人として意識し、多面的な教育機能を発揮しうるプログラム構築・実施、そして改善に努力を重ねてきた。また、農漁村学・ツーリズムといった社会経済学的な分野の専門教育の場としての役割も発揮するよう、学問領域の視野の広角化へも取り組みを進めてきた。

人間と海洋との結びつき、すなわち、人間が里海から受ける恩恵によって成り立ってきた文化・歴史的背景や、第一次産業構造、沿岸の人間活動や開発が里海的环境および生態系に与えた諸問題などを、実際に現場で認識・理解させる実感教育を展開することにより、彼らの視野を広げ、一般社会人として身に付けておかねばならない海洋基本法が謳う理念の啓蒙を進めることに貢献してきた。他大学学生にとって、豊潮丸で過ごす数日間の洋上体験は一生の思い出となるだけでなく、水産学・海洋学そして練習船に対する正しい認識・理解を深めるきっかけとなったことは間違いない。

豊潮丸の共同利用形態において推進する「混乗」という乗船形態には、教育環境面の利点が存在する。複数の大学の学生が乗り合せて共同作業をすることにより、参加学生の視野が広がるだけでなく、コミュニケーション力の向上を図ることができる。また、他大学の下級生を指導する立場の本学学生は自らの専門的知識と技術の向上にはげみ、リーダーシップを

培うことができる。さらに、利用大学の学生は本学学生と同等同質の教育と待遇を受けることができ、運用の効率化と教育の多様化を同時に果すことができる。このように共同利用の推進により、学生はより理想的な学習環境が享受できることとなる。

このような乗船者間のコミュニケーションや学術交流を進めやすい利点は中型練習船というサイズ規模ゆえである。加えて、乗船者に体調異変などのストレスを生じさせにくい海況の比較的安定した平水区域を運航できる本船の地理的利点も教育効果の向上に大きく貢献している。

このように、本拠点における多彩なプログラムに基づく実習・演習航海を通じて、一人一人の学生に多様な問題意識を惹起せしめる教育が効果的に提供できていると考える。これは海洋基本計画が求める人材の育成に大いに貢献するものである。

5. 今後の施設の利用・活用計画

練習船豊潮丸は、文部科学省より教育関係共同利用拠点（H29 より5年間）として再認定をいただくことができた。

上記のように、これまでの教育関係共同利用拠点認定後の事業取り組みにより、豊潮丸の特徴・魅力を生かした共同利用体制を確立させ、利用者数を伸ばしてきた。豊潮丸は毎年約150名の他大学学生に乗船機会を提供し、海洋立国を支える人材育成の裾野を広げてきた。この共同利用を推進させる事業を継続させながら、より質の高い教育体制を構築することこそが、豊潮丸の社会的使命であり、またこれからも引き続き挑戦すべき課題と考えている。乗船機会をさらに拡大させ、一人一人の個性を伸ばし得るような発展的学習の機会を提供できる教育関係共同利用拠点としての新展開を目指したい。

乗船学生のアンケート調査の声を活かし、乗船をきっかけにした里海に関する学習意欲の向上を、さらに助長する役目を果たすことこそが、豊潮丸の教育関係共同利用拠点としての新たな挑戦と考えている。特に、豊潮丸の共同利用のさらなる推進につながる課題と伸びしろが「学内向け混乗航海」に存在すると考える。

そこで、平成29年度以降の豊潮丸の活動においては、平成28年度までの「教育拠点認定期」における活動目標値である、1)年間150日を越える運航実績（整備航海を除く）、2)年間約700名の乗船者、3)大学間連携5航海（単独航海と他大学向け混乗航海）すべての実施、4)年間150名を越える他大学利用、の4点を維持させつつ、新しい試みとして、5)他大学学生の乗船機会の拡大と、より高度な学習機会を求める再乗船学生（学習リピーター）への対応を主眼に置いた取り組みを進めることで、意欲ある学生へのサポート体制を確立し、教育の質をより高いレベルにすることを目指していく。

新しい試みの背景には、これまでの「教育拠点認定期」における共同利用の取り組みにおいて、いまだ多くの学外者の乗船が1度きりであり、豊潮丸の教育調査機能を体験する学習レベルに留まっている現状がある。豊潮丸の提供する他大学向けの混乗航海は、他大学学生の体験航海を前提にしたものである。一方、学内向けの混乗航海は、研究利用目的で他大学学生に乗船活用されており、主催する本学教員の声がけにより乗船者が募られている現状にある。この対照的な教育的役割と利用実態を示す2タイプの混乗航海を、乗船利用者を通じて大きく連携させることを試みたい。具体的には、他大学向け混乗航海の乗船者が、学内向けの混乗航海に実習生として再乗船するという新しい共同利用パターンを誘導させたい。すなわち向学心ある乗船リピーターの創出である。

体験乗船を経て、「さらにより深く学びたい」という意欲が芽生えた学生が少なくないことは、アンケート結果からも明白である。「瀬戸内海の恵みと現状を学ぶ洋上里海総合演習」の

乗船学生（福山大学）が、その後、再び豊潮丸に乗船するべく本学大学院に進学した例が存在する。しかし、そのようなケースは非常に乏しい現状にある。学内向けの混乗航海に関する情報周知が十分でなかったために、乗船機会を潜在的に逸していたケースや、所属大学の教務関係の学年歴スケジュールから航海とのタイミングが合わずに乗船を見送っていたケースも、少なくなかったものと推察する。

他大学学生の共同利用パターンを拡大することで、里海学習を深化させた人材の育成が促進されるはずである。意欲ある学生の向学心を積極的に支援できる体制準備が間に合っていないことが、これまでの取り組みにおける課題であった。

そこで、平成29年度の事業活動より、意欲ある学生がより発展的な里海学習を受講することを求めて積極的に再乗船機会を得ようとする姿勢をサポートし、各自の個性を伸ばし得る発展的かつ多様な共同利用形態に対応しうる体制作りに取り組みたい。

まず、平成29年度からは単独航海を除くほぼ全ての航海を共同利用可能にする取り組みを実施する。豊潮丸の航海のうち、学内学生のみを対象にした教育実習航海が約10航海（乗船実習航海、フィールド科学演習航海、一般海洋観測航海など）存在する。それらには、初めて豊潮丸に乗船するレベルに合わせた体験航海型のものも（フィールド科学演習、環境科学野外実習）、発展的学習に相当する調査活動を主とした航海（フィールド科学入門、水圏環境学実験実習、乗船実習）も存在する。それらの多様な航海を他大学学生が余席利用できる混乗航海とする。これにより豊潮丸の年間活動を通じ、乗船可能な航海を選択できる仕組みが構築される。瀬戸内海に関する人文社会科学・自然科学の双方におけるさらなる発展的学習を支える教育体制となることが期待される。これからも乗船経験を有した他大学学生の自発的な里海発展学習の場として、さらに開かれた里海学習プラットフォームとして、豊潮丸の新たな魅力を発揮できるよう取り組みを進めていく所存である。

【平成29年度より混乗航海として提供予定の教育実習航海】

（平成28年度まで本学占有航海として実施）

航海名航海目的/海域	余席数	実施時期	航海日数
水圏環境学実験実習-1（一般海洋観測/瀬戸内海）	1～5名	5月	1日
水圏環境学実験実習-2（一般海洋観測/瀬戸内海）	1～5名	6月	1日
水圏環境学実験実習-3（一般海洋観測/瀬戸内海）	1～5名	7月	1日
フィールド科学入門-1（一般海洋観測/瀬戸内海）	1～5名	7月	1日
フィールド科学入門-2（一般海洋観測/瀬戸内海）	1～5名	7月	1日
環境科学野外実習（一般海洋観測/瀬戸内海）	1～5名	8月	2日
乗船実習-2（外洋体験と海洋生物採集、外洋と内海の環境比較/薩南海域）	1～5名	9月	9日
フィールド科学演習-1（生物生産現場の体験と理解/瀬戸内海）	1～5名	1月	2日
フィールド科学演習-2（生物生産現場の体験と理解/瀬戸内海）	1～5名	1月	2日
フィールド科学演習-3（生物生産現場の体験と理解/瀬戸内海）	1～5名	2月	2日
乗船実習-3（外洋体験と海洋生物採集、外洋と内海の環境比較/薩南海域）	1～5名	2月	9日

6. 参考資料（これまでの実績まとめ）

以下に平成25年度から平成28年度までの利用実績の詳細を示した。

平成25年度(2013年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:準ずるもの)				大学外(その他)				余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備考
		広島大学内 教 院 学 研 職 計	延べ人数 教 院 学 研 職 計	広島大学外 教 院 学 研 職 計	延べ人数 教 院 学 研 職 計	研究機関・企業等 教 生 研 般 他 計	延べ人数 教 生 研 般 他 計	研究機関・企業等 教 生 研 般 他 計	延べ人数 教 生 研 般 他 計				
1301	4月9日～4月12日 (4日)	生物圏科学研究科 1 2 3 0 0 6	4 8 12 0 0 24			賀茂泉酒造 0 0 0 1 0 1	0 0 0 4 0 4	13	52	R C	航海区分		
1302	5月7日～5月9日 (3日)	生物圏科学研究科 3 10 3 1 0 17	9 30 9 3 0 51	和歌山大学 0 1 1 0 0 2	0 3 3 0 0 6			1	3	T C		T:教育実習航海 R:調査実習航海 S:社会貢献航海 D:入渠補修工事	
1303	5月18日～5月18日 (1日)	生物圏科学研究科 2 4 10 0 0 16	2 4 10 0 0 16					4	4	T			
1304	5月21日～5月31日 (11日)	生物圏科学研究科 1 4 1 0 1 7	11 44 11 0 11 77	奈良女子大学 0 1 0 0 0 1 東京大学大学院理学研究科 0 1 0 0 0 1 東京大学大学院農学生命科学研究科 1 1 0 0 0 2 北海道大学地球環境科学研究科 0 1 0 0 0 1 北海道大学大学院理学研究院 0 0 0 1 0 1 東北大学大学院理学研究科 1 1 0 0 0 2	0 11 0 0 0 11 0 11 0 0 0 11 11 11 0 0 0 22 0 11 0 0 0 11 0 0 0 11 0 11 11 11 0 0 0 22	国立科学博物館 0 0 2 0 0 2 千葉県立中央博物館 0 0 1 0 0 1 ちゆら海水族館 0 0 2 0 0 2 鹿児島市水族館 0 0 2 0 0 2	0 0 22 0 0 22 0 0 11 0 0 11 0 0 22 0 0 22 0 0 22 0 0 22	0	0	R C	共同利用区分 単位認定を伴う 他大学利用	C:混乗 I:単独	
1305	6月3日～6月7日 (5日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	5 0 0 0 0 5	高知大学農学部 (2班×2日) 2 0 29 0 0 31	4 0 58 0 0 62			0	0	T I	その他の共同利用	CO:便乗	
1306	6月12日～6月15日	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	4 0 0 0 0 4	福山大学生命工学部 (2班×1日) 4 0 39 0 0 43	4 0 39 0 0 43			0	0	T I			
1307	6月16日～6月16日 (1日)	生物圏科学研究科 2 4 9 0 0 15	2 4 9 0 0 15					5	5	T	乗船者区分		
1308	6月17日～6月21日 (5日)	生物圏科学研究科 2 5 0 0 0 7 総合科学部 0 0 2 0 0 2	10 25 0 0 0 35 0 0 10 0 0 10			JAMSTEC 0 0 0 1 0 1 国立水俣病総合研究センター 0 0 0 2 0 2	0 0 0 5 0 5 0 0 0 10 0 10	8	40	R C		教:教員・教諭 院:大学院生 学:学部学生・研究生 職:事務員・技官 生:児童・小中高生 研:研究員・調査員 般:社会人 他:報道・マスコミ その他	
1309	6月24日～6月25日 (2日)	生物圏科学研究科 1 2 1 0 0 4	2 4 2 0 0 8	神戸大学内南城環境教育センター 0 0 0 1 0 1	0 0 0 2 0 2			15	30	R C			
1310	6月28日～7月1日 (4日)	生物圏科学研究科 2 1 0 0 0 3	8 4 0 0 0 12	福山大学 0 0 10 0 0 10 広島経済大学 0 0 6 0 0 6	0 0 40 0 0 40 0 0 24 0 0 24			1	4	T C			
1311	7月4日～7月11日 (8日)	生物圏科学研究科 2 3 2 0 0 7	16 24 16 0 0 56	早稲田大学先進理工学部 1 3 3 0 0 7 北海道大学大学院水産科学研究科 1 2 0 0 0 3	8 24 24 0 0 56 8 16 0 0 0 24	日本水中科学協会 0 0 0 2 0 2	0 0 0 16 0 16	1	8	T C			
1312	7月13日～7月13日 (1日)	生物圏科学研究科 3 4 9 0 0 16	3 4 9 0 0 16					4	4	T			
1313	7月15日～7月15日 (1日)	生物圏科学研究科 2 1 1 0 0 4	2 1 1 0 0 4			受講者 0 18 0 16 0 34 日本中小造船工業会 0 0 0 2 0 2	0 18 0 16 0 34 0 0 0 2 0 2	0	0	S I			
1314	7月21日～7月22日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	2 0 0 0 0 2			安田女子中学高等学校 2 17 0 0 0 19	4 34 0 0 0 38	0	0	S I			

平成25年度(2013年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:準ずるもの)				大学外(その他)				余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備 考
		広島大学内 教 院 学 研 職 計	延べ人数 教 院 学 研 職 計	広島大学外 教 院 学 研 職 計	延べ人数 教 院 学 研 職 計	研究機関・企業等 教 生 研 般 他 計	延べ人数 教 生 研 般 他 計	研究機関・企業等 教 生 研 般 他 計	延べ人数 教 生 研 般 他 計				
1315	7月23日 ~ 7月23日 (1日)	生物圏科学研究科 2 0 0 0 0 2	2 0 0 0 0 0 2	筑波大学実習生 0 0 3 0 0 3	0 0 3 0 0 3	受講者 0 24 0 0 0 24 江田島青少年交流の家 0 0 0 2 0 2	0 24 0 0 0 24 0 0 0 2 0 2	26 26	0 0	0 0	S I		
1316	7月25日 ~ 8月1日 (8日)	生物圏科学研究科 1 3 0 3 0 7	8 24 0 24 0 56	佐賀大学 1 0 0 0 0 1 石巻専修大学 0 0 0 1 0 1 University of Oregon 0 0 1 0 0 1	8 0 0 0 0 8 0 0 0 8 0 8 0 0 8 0 0 8	Toronto star 0 0 0 1 0 1 漁業者 0 0 0 1 0 1	0 0 0 8 0 8 0 0 0 8 0 8	8 8	8	64	R C		
1317	8月5日 ~ 8月5日 (1日)	生物圏科学研究科 4 10 1 1 0 16	4 10 1 1 0 16	世界展開力強化事業 7 0 7 0 0 14					0 0	0 0	T C		
1318	8月6日 ~ 8月7日 (2日)	生物生産学部 2 0 23 0 0 25 工学部 0 0 3 0 0 3 理学部 0 0 7 0 0 7 教育学部 0 0 19 0 0 19 総合科学部 0 0 6 0 0 6 文学部 0 0 4 0 0 4 (2班×1日) 64	2 0 23 0 0 25 0 0 3 0 0 3 0 0 7 0 0 7 0 0 19 0 0 19 0 0 6 0 0 6 0 0 4 0 0 4 64						0 0	0 0	T		
1319	8月18日 ~ 8月19日 (2日)	生物圏科学研究科 2 0 6 0 0 8 (1日のみ)	2 0 6 0 0 8			日本生物学オリンピック選手 0 21 0 0 0 21 (1日のみ)	0 21 0 0 0 21	21	0 0	0 0	S I		
1320	8月22日 ~ 8月30日 (9日)	生物圏科学研究科 2 1 11 0 0 14	18 9 99 0 0 126						6	54	T		
1321	9月2日 ~ 9月3日 (2日)	生物圏科学研究科 1 1 0 0 0 2	2 2 0 0 0 4	鳥取大学 0 0 2 0 0 2 島根大学 0 0 1 0 0 1 岡山大学 0 0 4 0 0 4 山口大学 0 0 5 0 0 5 愛媛大学 0 0 3 0 0 3 高知大学 0 0 3 0 0 3	0 0 4 0 0 4 0 0 2 0 0 2 0 0 8 0 0 8 0 0 10 0 0 10 0 0 6 0 0 6 0 0 6 0 0 6				0 0	0 0	T C		
1322	9月6日 ~ 9月14日 (9日)	生物圏科学研究科 1 0 17 0 0 18	9 0 153 0 0 162						2	18	T		
1323	9月17日 ~ 9月19日 (3日)	生物圏科学研究科 3 5 3 0 0 11	9 15 9 0 0 33						9	27	R C		
1324	9月24日 ~ 9月27日 (4日)	生物圏科学研究科 2 2 2 0 0 6	8 8 8 0 0 24	香川大学農学部 1 10 1 0 0 12 (2日間)	2 20 2 0 0 24				2	8	T C		

平成25年度(2013年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:準ずるもの)				大学外(その他)		余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備 考
		広島大学内 教 院 学 研 職 計	延べ人数 教 院 学 研 職 計	広島大学外 教 院 学 研 職 計	延べ人数 教 院 学 研 職 計	研究機関・企業等 教 生 研 般 他 計	延べ人数 教 生 研 般 他 計				
1325	9月28日～9月29日 (2日)	生物圏科学研究科 2 3 0 0 0 5 総合科学部 0 0 12 0 0 12 文学部 0 0 1 0 0 1 18	4 6 0 0 0 10 36					2	4	T C	
1326	10月3日～10月11日 (9日)	生物圏科学研究科 4 4 5 0 0 13	36 36 45 0 0 117					7	63	T C	
1327	10月19日～10月19日 (1日)	生物圏科学研究科 1 2 0 0 0 3 総合博物館 1 0 0 0 3 4 7	1 2 0 0 0 3 7			受講者 0 22 0 18 0 40	0 22 0 18 0 40	0	0	S I	
1328	10月24日～10月29日 (6日) 台風のため中止							0	0	T C	
1329	11月5日～11月8日 (4日)	生物圏科学研究科 2 3 1 1 1 8 教育学部 0 0 1 0 0 1 9	8 12 4 4 4 32 36	鹿児島大学理学部 1 1 0 0 0 2 東邦大学大学院理学研究科 0 1 0 0 0 1	4 4 0 0 0 8 3	新江ノ島水族館 0 0 0 1 0 1	0 0 0 4 0 4	7	28	R C	
1330	11月11日～11月15日 (5日)	生物圏科学研究科 3 1 8 0 0 12	15 5 40 0 0 60	東京大学 0 1 0 1 0 2 東邦大学 0 1 0 0 0 1 3	0 5 0 5 0 10 15			5	25	T C	
1331	11月18日～11月20日 (3日)	生物圏科学研究科 1 5 5 1 0 12	3 15 15 3 0 36					8	24	T C	
1332	11月25日～12月19日 (25日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1 (1日のみ)	1 0 0 0 0 1					19	19	D	
1333	1月20日～1月23日 (4日)	生物圏科学研究科 3 2 8 1 0 14	12 8 32 4 0 56	神戸大学 1 0 0 0 0 1	4 0 0 0 0 4			5	20	R C	

平成25年度(2013年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:準ずるもの)				大学外(その他)		余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備 考
		広島大学内 教 院 学 研 職 計	延べ人数 教 院 学 研 職 計	広島大学外 教 院 学 研 職 計	延べ人数 教 院 学 研 職 計	研究機関・企業等 教 生 研 般 他 計	延べ人数 教 生 研 般 他 計				
1334	2月3日 ~ 2月5日 (3日)	生物圏科学研究科 2 7 2 0 0 11	6 21 6 0 0 33			広島県西部農林水産事務所 0 0 0 1 0 1	0 0 0 3 0 3	8	24	T C	
1335	2月13日 ~ 2月14日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 16 0 0 17	2 0 32 0 0 34					3	6	T	
1336	2月17日 ~ 2月18日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 15 0 0 16	2 0 30 0 0 32					4	8	T	
1337	2月19日 ~ 2月20日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 16 0 0 17	2 0 32 0 0 34					3	6	T	
1338	2月24日 ~ 3月3日 (8日)	生物圏科学研究科 1 0 11 0 0 12	8 0 88 0 0 96					8	64	T	
1339	3月7日 ~ 3月13日 (7日)	生物圏科学研究科 1 2 3 0 0 6	7 14 21 0 0 42	長門大学農学研究院 環境水産研究センター 1 0 0 0 0 1	5 0 0 0 0 5	葉山しおさい博物館 0 0 1 0 0 1 国立遺伝学研究所 0 0 1 0 0 1 基礎生物学研究所 0 0 2 0 0 2 水産総合研究センター 0 0 1 0 0 1 東広島商工会議所青年部 0 0 0 1 0 1	0 0 3 0 0 3 0 0 3 0 0 3 0 0 6 0 0 6 0 0 3 0 0 3 0 0 0 3 0 3	7	49	R C	
		教 院 学 研 職 計 教 院 学 研 職 計		教 院 学 研 職 計 教 院 学 研 職 計		教 生 研 般 他 計 教 生 研 般 他 計		余 席 数 余 席 数			
		69 91 247 8 5 420 252 339 802 39 18 1450		22 25 118 4 0 169 69 136 237 26 0 468		2 102 12 49 0 165 4 119 92 99 0 314 165 661					
		広島大学内 広島大学内 延べ人数 延べ人数		広島大学外 広島大学外 延べ人数 延べ人数		大学外 大学外 延べ人数 延べ人数					
						教 院 学 研 職 生 般 他 計					
						合計 93 116 365 24 5 102 49 0 754					
										(内外国人 40人)	
						教 院 学 研 職 生 般 他 計					
						延べ人数合計 325 475 1039 157 18 119 99 0 2232					

平成26年度(2014年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:準ずるもの)				大学外(その他)				余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備考
		広島大学内		延べ人数		研究機関・企業等		延べ人数					
		教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 生 研 般 他 計	教 生 研 般 他 計	教 生 研 般 他 計	教 生 研 般 他 計				
1401	4月8日～4月11日 (4日)	生物圏科学研究科 2 4 1 0 0 7 理学研究科 1 0 1 0 0 2 9	4 16 4 0 0 24 2 0 2 0 0 4 28			NPO PLANT 0 0 0 1 0 1 0 0 0 2 0 2	0 0 0 1 0 1 0 0 0 2 0 2	10	50	R C	航海区分 T:教育実習航海 R:調査実習航海 S:社会貢献航海 D:入渠補修工事		
1402	4月19日～4月19日 (1日)	生物圏科学研究科 1 2 0 0 0 3 総合博物館 1 0 0 0 1 2 5	1 2 0 0 0 3 1 0 0 0 1 2 5			受講者 0 22 0 18 0 40	0 22 0 18 0 40	0	0	S I	共同利用区分 単位認定を伴う 他大学利用		
1403	5月7日～5月8日 (2日)	生物圏科学研究科 2 4 2 0 0 8 工学研究院 0 0 0 1 0 1 9	4 8 4 0 0 16 0 0 0 2 0 2 18			海中景観研究所 0 0 0 1 0 1 NPO自然と釣りのネットワーク 0 0 0 1 0 1 2	0 0 0 2 0 2 0 0 0 2 0 2 4	9	18	R C I	その他の共同利用 C:混乗 I:単独 CO:便乗		
1404	5月12日～5月14日 (3日)	生物圏科学研究科 4 8 8 0 1 21	6 22 24 0 2 54	大分大学 0 1 0 0 0 1	0 3 0 0 0 3			0	3	T C	乗船者区分		
1405	5月17日～5月17日 (1日)	生物圏科学研究科 2 3 8 0 0 13	2 3 8 0 0 13					7	7	T I	教:教員・教諭 院:大学院生 学:学部学生・研究生		
1406	5月20日～5月29日 (10日)	生物圏科学研究科 1 2 1 1 0 5	10 20 10 10 0 50	東京大学 1 2 0 0 1 4 琉球大学 1 0 0 0 0 1 北里大学 0 1 0 0 0 1 北海道大学 0 1 0 1 0 2 8	10 20 0 0 6 36 10 0 0 0 0 10 0 10 0 0 0 10 0 10 0 10 0 20 76	北九州自然史歴史博物館 0 0 1 0 0 1 JAMSTEC 0 0 2 0 0 2 新江ノ島水族館 0 0 2 0 0 2 国立科学博物館 0 0 1 0 0 1 6	0 0 10 0 0 10 0 0 20 0 0 20 0 0 20 0 0 20 0 0 10 0 0 10 60	1	14	T C	職:事務員・技官 生:児童・小中高生 研:研究員・調査員 般:社会人 他:報道・マスコミ その他		
1407	6月2日～6月6日 (5日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	5 0 0 0 0 5	高知大学 2 0 28 0 0 30 2班×2日	4 0 56 0 0 60			0	0	T I			
1408	6月9日～6月13日 (5日)	生物圏科学研究科 2 4 0 3 0 9 総合科学部 0 0 2 0 0 2 11	10 17 0 15 0 42 0 0 10 0 0 10 52			国立水俣病総合研究センター 0 0 2 0 0 2	0 0 10 0 0 10	7	38	R C			
1409	6月14日～6月14日 (1日)	生物圏科学研究科 2 3 8 0 0 13	2 3 8 0 0 13					7	7	T			
1410	6月18日～6月21日 (4日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	4 0 0 0 0 4	福山大学 4 0 42 0 0 46 2班×1日	4 0 42 0 0 46			0	0	T I			
1411	6月27日～6月30日 (4日)	生物圏科学研究科 2 2 0 0 0 4	8 6 0 0 0 14	福山大学 0 0 8 0 0 8	0 0 32 0 0 32			8	34	T C			
1412	7月3日～7月9日 (7日)	生物圏科学研究科 2 4 2 0 0 8	14 28 12 0 0 54	早稲田大学 1 3 1 0 0 5 北海道大学 1 3 0 0 0 4 函館工業高等専門学校 1 0 0 0 0 1 10	7 21 7 0 0 35 7 21 0 0 0 28 7 0 0 0 0 7 70	NPO日本水中科学協会 0 0 0 2 0 2	0 0 0 14 0 14	0	2	T C			

平成26年度(2014年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:準ずるもの)				大学外(その他)				余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備考
		広島大学内		延べ人数		研究機関・企業等		延べ人数					
		教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 生 研 般 他 計	教 生 研 般 他 計	教 生 研 般 他 計	教 生 研 般 他 計				
1413	7月12日～7月12日 (1日)	生物圏科学研究科 2 3 9 0 0 14	2 3 9 0 0 14							6	6	T	
1414	7月17日～7月18日 (2日)	生物圏科学研究科 3 3 5 3 0 14 工学部環境安全センター 1 0 0 0 0 1 15	6 6 10 6 0 28 2 0 0 0 0 2 30	大阪府立大学 1 0 0 0 0 1 佐賀大学 1 0 0 0 0 1 神戸大学 1 0 2 0 0 3 5	2 0 0 0 0 2 2 0 0 0 0 2 2 0 4 0 0 6 10					0	0	R C	
1415	7月22日～7月23日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	1 0 0 0 0 1			安田女子中学高等学校 2 17 0 0 0 19	4 34 0 0 0 38			0	1	S I	
1416	7月25日～8月1日 (8日)	生物圏科学研究科 2 1 1 4 0 8	11 8 8 32 0 59	佐賀大学 1 0 0 0 0 1 石巻専修大学 0 0 0 1 0 1 名古屋大学 0 0 0 1 0 1 Grinnell College 0 1 0 0 0 1 4	2 0 0 0 0 2 0 0 0 3 0 3 0 0 0 7 0 7 0 8 0 0 0 8 20	日本環境監視協会 0 0 0 1 0 1 漁業者 0 0 0 1 0 1	0 0 0 5 0 5 0 0 0 2 0 2			6	74	R C	
1417	8月5日～8月5日 (1日)	生物圏科学研究科 3 8 0 0 0 11	3 8 0 0 0 11	世界展開力強化事業 6 10 0 0 0 16	6 10 0 0 0 16					0	0	T C	
1418	8月7日～8月8日 (2日)	教育学部 0 0 14 0 0 14 工学部 0 0 9 0 0 9 生物生産学部 2 0 14 0 0 16 理学部 0 0 1 0 0 1 8/6航海中止 2班×1日 40	0 0 14 0 0 14 0 0 9 0 0 9 2 0 14 0 0 16 0 0 1 0 0 1 40							0	0	T	
1419	8月19日～8月19日 (1日)	生物圏科学研究科 2 0 0 0 0 2	2 0 0 0 0 2	安田女子大学 0 0 2 0 0 2 広島工業大学 0 0 2 0 0 2 4	0 0 2 0 0 2 0 0 2 0 0 2 4	江田島青少年交流の家 2 0 0 0 0 2 受講者 0 24 0 0 0 24	2 0 0 0 0 2 0 24 0 0 0 24			0	0	S I	
1420	8月21日～8月29日 (9日)	生物圏科学研究科 2 1 16 0 0 19	13 4 144 0 0 161							1	19	T	
1421	9月2日～9月3日 (2日)	生物圏科学研究科 1 1 0 0 0 2	2 2 0 0 0 4	鳥取大学 0 0 4 0 0 4 岡山大学 0 0 2 0 0 2 県立広島大学 0 0 1 0 0 1 山口大学 0 0 2 0 0 2 香川大学 0 0 2 0 0 2 愛媛大学 0 0 6 0 0 6 高知大学 0 0 1 0 0 1 18	0 0 8 0 0 8 0 0 4 0 0 4 0 0 2 0 0 2 0 0 4 0 0 4 0 0 4 0 0 4 0 0 12 0 0 12 0 0 2 0 0 2 36					0	0	T C	
1422	9月8日～9月16日 (9日)	生物圏科学研究科 1 0 18 0 0 19	9 0 162 0 0 171							1	9	T	

平成26年度(2014年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:準ずるもの)				大学外(その他)				余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備考
		広島大学内		延べ人数		研究機関・企業等		延べ人数					
		教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 生 研 般 他 計	教 生 研 般 他 計	教 生 研 般 他 計	教 生 研 般 他 計				
1423	9月22日～9月25日 (4日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	4 0 0 0 0 4	香川大学 1 8 0 0 0 9	2 16 0 0 0 18			10	58	T I			
1424	10月1日～10月8日 (8日)	生物圏科学研究科 2 3 6 0 0 11 環境安全センター 0 0 0 0 1 1 12	16 24 48 0 0 88 0 0 0 0 8 8 96					8	64	T C			
1425	10月14日～10月16日 (3日)	生物圏科学研究科 3 4 1 0 0 8	7 12 3 0 0 22	AIMS留学生 0 0 9 0 0 9	0 0 27 0 0 27			3	11	T C			
1426	10月20日～10月20日 (1日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	1 0 0 0 0 1			受講者 0 0 0 37 0 37	0 0 0 37 0 37	0	0	S I			
1427	10月26日～10月31日 (6日)	生物圏科学研究科 1 2 3 1 0 7	6 12 18 6 0 42	熊本県立大 2 4 3 0 0 9 北海道大学 0 1 0 0 0 1 東京大学 0 0 0 0 1 1 11	4 8 6 0 0 18 0 6 0 0 0 6 0 0 0 0 6 6 30			2	48	R C			
1428	11月4日～11月7日 (4日)	生物圏科学研究科 1 3 2 1 0 7	4 12 8 4 0 28	鹿児島大学 1 0 2 0 0 3 北里大学 1 0 0 1 0 2 京都大学 0 0 1 0 0 1 東京大学 0 1 0 0 0 1 北海道大学 0 1 0 0 0 1 8	2 0 8 0 0 10 4 0 0 4 0 8 0 0 4 0 0 4 0 4 0 0 0 4 0 4 0 0 0 4 30	大阪市立自然史博物館 0 0 2 0 0 2 和歌山県立自然史博物館 0 0 1 0 0 1 株式会社AVIC 0 0 0 1 0 1	0 0 7 0 0 7 0 0 4 0 0 4 0 0 0 1 0 1 4	1	10	R C			
1429	11月10日～11月14日 (5日)	生物圏科学研究科 2 4 10 0 0 16	8 20 50 0 0 78					4	22	T C			
1430	11月17日～11月20日 (4日)	生物圏科学研究科 3 7 2 1 0 13	12 28 8 4 0 52					7	28	T C			
1431	11月25日～12月19日 (25日)					三井造船株式会社 0 0 0 2 0 2 古野電気株式会社 0 0 0 2 0 2 4	0 0 0 4 0 4 0 0 0 4 0 4 8	0	0	D			
1432	1月26日～1月30日 (5日)	生物圏科学研究科 3 5 6 0 0 14 環境安全センター 0 0 0 1 0 1 15	15 25 30 0 0 70 0 0 0 5 0 5 75			山口県水産研究センター 0 0 1 0 0 1	0 0 5 0 0 5	4	20	R C			
1433	2月2日～2月4日 (3日)	生物圏科学研究科 1 7 1 0 0 9	3 21 3 0 0 27					11	33	R C			
1434	2月12日～2月13日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 14 0 0 15	2 0 28 0 0 30					5	10	T			
1435	2月16日～2月17日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 15 0 0 16	2 0 30 0 0 32					4	8	T			
1436	2月18日～2月19日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 14 0 0 15	2 0 28 0 0 30					5	10	T			

平成26年度(2014年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:準ずるもの)				大学外(その他)				余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備考
		広島大学内 教 院 学 研 職 計	延べ人数 教 院 学 研 職 計	広島大学外 教 院 学 研 職 計	延べ人数 教 院 学 研 職 計	研究機関・企業等 教 生 研 般 他 計	延べ人数 教 生 研 般 他 計	研究機関・企業等 教 生 研 般 他 計	延べ人数 教 生 研 般 他 計				
1437	2月23日～3月3日 (9日)	生物圏科学研究科 1 0 16 0 0 17	9 0 144 0 0 153							3	27	T	
1438	3月6日～3月13日 (8日)	生物圏科学研究科 1 5 4 0 0 10	7 40 32 0 0 79	九州大学院農学研究院 1 0 0 0 0 1 県立広島大学 1 0 4 0 0 5	3 0 0 0 0 3 5 0 32 0 0 37	薬山しおさい博物館 0 0 0 1 0 1 NPO PLANT 0 0 0 1 0 1	0 0 0 3 0 3 0 0 0 4 0 4	2	34	R C			
		教 院 学 研 職 計 67 93 214 16 3 393	教 院 学 研 職 計 224 350 883 84 11 1552	教 院 学 研 職 計 28 37 122 4 2 193	教 院 学 研 職 計 83 141 258 24 12 518	教 生 研 般 他 計 4 63 12 69 0 148	教 生 研 般 他 計 6 80 86 98 0 270	余席 132	余席 665				

整理番号「1431」はドック航海のため余席なし

教 院 学 研 職 生 般 他 計
合計 99 130 336 32 5 63 69 0 **734**

(内外国人 54人)

延べ人数合計 教 院 学 研 職 生 般 他 計
313 491 1141 194 23 80 98 0 **2340**

平成27年度(2015年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:進ずるもの)				大学外(その他)				余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備 考			
		広島大学内		延べ人数		広島大学外		延べ人数						研究機関・企業等	延べ人数	
		教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計							
1501	4月7日～4月10日 (4日)	生物圏科学研究科 1 4 1 0 0 6	4 13 4 0 0 21	明治大学農学部 0 0 1 0 0 1	0 0 3 0 0 3	薬山しおさい博物館 0 0 0 2 0 2 アクト関西 0 0 0 1 0 1 エステイ 0 0 0 1 0 1 東和環境科学 0 0 0 1 0 1 IPCC 0 0 0 1 0 1 中国環境パートナーシップオフィス 0 0 0 2 0 2 NPO PLANT 0 0 0 1 0 1	0 0 0 8 0 8 0 0 0 2 0 2 0 0 0 2 0 2 0 0 0 2 0 2 0 0 0 4 0 4 0 0 0 6 0 6 0 0 0 3 0 3	9	27	4	53	R C	航海区分 T:教育実習航海 R:調査実習航海 S:社会貢献航海 D:入渠補修工事			
1502	4月18日～4月18日 (1日)	生物圏科学研究科 1 2 0 0 0 3 総合博物館 1 0 0 0 1 2	1 2 0 0 0 3 1 0 0 0 1 2					受講者 0 16 0 22 0 38	0 16 0 22 0 38	0	0	S I	共同利用区分 単位認定を伴う 他大学利用 C:混乗 I:単独			
1503	5月11日～5月13日 (3日)	生物圏科学研究科 4 5 5 1 0 15	8 10 12 2 0 32	広島修道大学 1 0 0 0 0 1	2 0 0 0 0 2					4	26	T C	その他の共同利用 CO:便乗			
1504	5月14日～5月15日 (2日)	生物圏科学研究科 1 4 2 1 0 8 総合科学研究科 0 3 0 0 0 3	2 8 4 2 0 16 0 6 0 0 0 6			海中景観研究所 0 0 0 1 0 1 NPO法人自然と釣りのネットワーク 0 0 0 1 0 1	0 0 0 2 0 2 0 0 0 2 0 2	2	4	7	14	R C	乗船者区分 教:教員・教諭 院:大学院生 学:学部学生・研究生 職:事務員・技官 研:研究員・調査員 般:社会人 他:報道・マスコミ その他			
1505	5月17日～5月26日 (10日)	生物圏科学研究科 1 3 1 1 0 6	10 30 10 10 0 60	名古屋大学 1 1 0 0 0 2 東京大学 1 3 0 0 0 4 北海道大学 0 1 0 0 0 1 京都大学 0 0 0 1 0 1	4 8 0 0 0 12 10 30 0 0 0 40 0 10 0 0 0 10 0 0 0 10 0 10	国立科学博物館 0 0 1 0 0 1 JAMSTEC 0 0 3 0 0 3 鹿児島市水族館公社 0 0 0 1 0 1	0 0 10 0 0 10 0 0 15 0 0 15 0 0 0 6 0 6	5	31	1	49	T C				
1506	5月30日～5月30日 (1日)	生物圏科学研究科 2 2 9 0 0 13	2 2 9 0 0 13							7	7	T C				
1507	6月1日～6月5日 (5日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	5 0 0 0 0 5	高知大学 2 班×2日 2 0 24 0 0 26	4 0 48 0 0 52					0	0	T I				
1508	6月8日～6月12日 (5日)	生物圏科学研究科 2 8 0 1 0 11 総合科学部 0 0 1 0 0 1	10 40 0 5 0 55 0 0 5 0 0 5	神戸大学 1 0 0 0 0 1	5 0 0 0 0 5	国立水保病総合研究センター 0 0 1 0 0 1	0 0 5 0 0 5	6	30			R C				
1509	6月13日～6月13日 (1日)	生物圏科学研究科 2 2 10 0 0 14	2 2 10 0 0 14							6	6	T I				
1510	6月17日～6月20日 (4日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	3 0 0 0 0 3	福山大学 2 班×1日 4 0 27 0 0 31	4 0 27 0 0 31					0	0	T I				
1511	6月26日～6月29日 (4日)	生物圏科学研究科 2 4 0 0 0 6	8 16 0 0 0 24	福山大学 0 0 12 0 0 12 倉敷芸術科学大学 0 0 1 0 0 1	0 0 48 0 0 48 0 0 4 0 0 4					1	4	T C				
1512	7月2日～7月3日 (2日)	生物圏科学研究科 3 5 2 0 0 10 環境安全センター 0 0 0 1 0 1	6 10 4 0 0 20 0 0 0 2 0 2			山口県水産研究センター 0 0 1 0 0 1	0 0 2 0 0 2	8	16			R C				
1513	7月4日～7月4日 (1日)	生物圏科学研究科 2 2 12 0 0 16	2 2 12 0 0 16	香川大学 1 1 0 1 1 4	1 1 0 1 1 4					0	0	T C				

平成27年度(2015年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:進ずるもの)				大学外(その他)				余 席 数	延べ 余 席 数	航 海 区 分	備 考		
		広島大学内		延べ人数		広島大学外		延べ人数						研究機関・企業等	
		教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計			
1514	7月10日～7月16日 (7日)	生物圏科学研究科 3 0 1 1 0 5	11 0 2 7 0 20	三重大学 0 0 1 0 0 1 日本大学 0 0 1 0 0 1 高知大学黒潮研究所 0 0 0 1 0 1	0 0 7 0 0 7 0 0 7 0 0 7 0 0 0 5 0 5	3	19					12	101	R C	
1515	7月21日～7月22日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	1 0 0 0 0 1							安田女子中学高等学校 2 17 0 0 0 19	4 34 0 0 0 38	0		S I	
1516	7月24日～7月31日 (8日)	生物圏科学研究科 1 1 2 1 0 5	8 8 16 8 0 40	早稲田大学 1 4 2 0 0 7 北海道大学 1 4 0 0 0 5	8 32 16 0 0 56 8 32 0 0 0 40	12	96			NPO日本水中科学協会 0 0 0 2 0 2	0 0 0 16 0 16	1	8	T C	
1517	8月1日～8月1日 (1日)	生物生産学部 1 0 10 0 0 11 教育学部 0 0 1 0 0 1 総合科学部 0 0 1 0 0 1 理学部 0 0 3 0 0 3	1 0 10 0 0 11 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 3 0 0 3										4	4	T C
1518	8月5日～8月5日 (1日)	生物圏科学研究科 2 1 1 0 0 4	2 1 1 0 0 4							日本中小型造船工業会 0 0 0 2 0 2 受講者 0 14 0 15 0 29	0 0 0 2 0 2 0 14 0 15 0 29	0	0	S I	
1519	8月8日～8月9日 (2日)	生物圏科学研究科 2 2 0 0 0 4 総合科学部 0 0 15 0 0 15	4 4 0 0 0 8 0 0 30 0 0 30										1	2	T
1520	8月18日～8月18日 (1日)	生物圏科学研究科 2 0 1 0 0 3	2 0 1 0 0 3	広島商船高等専門学校 0 0 1 0 0 1 広島文化学園大学 0 0 1 0 0 1 広島女学院大学 0 0 1 0 0 1	0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1	3	3			江田島青少年交流の家 3 0 0 0 0 3 受講者 0 23 0 0 0 23	3 0 0 0 0 3 0 23 0 0 0 23	0	0	S I	
1521	8月20日～8月28日 (9日)	生物圏科学研究科 1 0 10 0 0 11	9 0 90 0 0 99										9	81	T
1522	9月2日～9月4日 (3日)	生物圏科学研究科 2 0 0 0 0 2	6 0 0 0 0 6	鳥取大学 0 0 1 0 0 1 岡山大学 0 0 4 0 0 4 山口大学 0 0 2 0 0 2 香川大学 0 0 1 0 0 1 愛媛大学 0 0 5 0 0 5	0 0 3 0 0 3 0 0 12 0 0 12 0 0 6 0 0 6 0 0 3 0 0 3 0 0 15 0 0 15	13	39					5	15	T C	
1523	9月7日～9月15日 (9日)	生物圏科学研究科 1 0 17 0 0 18	9 0 153 0 0 162										2	18	T
1524	9月16日～9月18日 (3日)	生物圏科学研究科 2 4 4 0 0 10 環境安全センター 0 0 0 1 0 1	6 12 12 0 0 30 0 0 0 3 0 3										9	27	T C
1525	9月25日～9月29日 (5日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	5 0 0 0 0 5	香川大学 2 0 13 0 0 15	4 0 26 0 0 30							4	65	T I	
1526	10月2日～10月8日 (7日)	生物圏科学研究科 2 7 4 0 0 13	14 46 28 0 0 88							つくばセントラル病院 1 0 0 0 0 1 BLUE 7C 0 0 0 1 0 1	5 0 0 0 0 5 0 0 0 7 0 7	5	40	R C	
												2		12	

平成27年度(2015年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:進ずるもの)						大学外(その他)				余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備 考
		広島大学内		延べ人数		広島大学外		研究機関・企業等		延べ人数					
		教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計	教 院 学 研 職 計				
1527	10月13日～10月15日 (3日)	生物圏科学研究科 3 4 2 0 0 9	7 12 6 0 0 25	AIMS留学生 0 0 11 0 0 11	0 0 33 0 0 33						0	2	T C		
1528	10月19日～10月28日 (10日)	生物圏科学研究科 1 4 3 1 0 9	10 40 30 10 0 90	京都大学 0 1 0 1 0 2 名古屋大学 0 1 0 0 0 1 東京大学 0 2 0 0 0 2	0 10 0 10 0 20 0 10 0 0 0 10 0 20 0 0 0 20	国立科学博物館 0 0 1 0 0 1 和歌山県立自然史博物館 0 0 1 0 0 1 黒潮生物研究所 0 0 1 0 0 1 北九州自然史歴史博物館 0 0 1 0 0 1	0 0 10 0 0 10 0 0 10 0 0 10 0 0 8 0 0 8 0 0 5 0 0 5	5	50	4	33	2	27	R C	
1529	11月7日～11月7日 (1日)	生物圏科学研究科 3 0 1 0 0 4	3 0 1 0 0 4			受講者 0 0 0 12 0 12	0 0 0 12 0 12				4	4	S I		
1530	11月9日～11月13日 (5日)	生物圏科学研究科 1 1 12 0 0 14	5 5 60 0 0 70								6	30	T C		
1531	11月16日～11月19日 (4日)	生物圏科学研究科 2 6 3 0 0 11	8 24 12 0 0 44			卒業生 0 0 0 1 0 1	0 0 0 4 0 4				8	32	T C		
1532	11月24日～12月18日 (25日)										0	0	D		
1533	2月1日～2月3日 (3日)	生物圏科学研究科 1 10 4 0 0 15	3 30 12 0 0 45								5	15	R C		
1534	2月13日～2月14日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 19 0 0 20	2 0 38 0 0 40								0	0	T		
1535	2月16日～2月17日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 19 0 0 20	2 0 38 0 0 40								0	0	T		
1536	2月18日～2月19日 (2日)	生物圏科学研究科 1 0 15 0 0 16	2 0 30 0 0 32								4	8	T		
1537	2月24日～3月3日 (9日)	生物圏科学研究科 1 0 11 0 0 12	9 0 99 0 0 108								8	72	T		
1538	3月7日～3月14日 (8日)	生物圏科学研究科 1 4 8 0 0 13	8 32 64 0 0 104	麻布大学 0 0 1 0 0 1	0 0 8 0 0 8	葉山しおさい博物館 0 0 0 1 0 1 海洋生物研究会 0 0 0 1 0 1 NPO PLANT 0 0 0 1 0 1	0 0 0 8 0 8 0 0 0 5 0 5 0 0 0 6 0 6	3	37	3	19	R C			

教 院 学 研 職 計 教 院 学 研 職 計
61 88 210 9 1 369 201 355 808 49 1 1414
広島大学内 広島大学内
延べ人数

教 院 学 研 職 計 教 院 学 研 職 計
15 18 110 4 1 148 50 153 269 26 1 499
広島大学外 広島大学外
延べ人数

教 生 研 般 他 計 教 生 研 般 他 計 余 席 余 席
6 70 10 70 0 156 12 87 65 134 0 298 136 793
大学外 大学外
延べ人数

教 院 学 研 職 生 般 他 計
合計 82 106 320 23 2 70 70 0 673

(内外国人 36人)

教 院 学 研 職 生 般 他 計
延べ人数合計 263 508 1077 140 2 87 134 0 2211

平成28年度(2016年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:準ずるもの)						大学外(その他)						余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備 考
		広島大学内		延べ人数		広島大学外		研究機関・企業等		延べ人数		大学外(その他)					
		教 院 学 研 職 計	計	教 院 学 研 職 計	計	教 院 学 研 職 計	計	教 院 学 研 職 計	計	教 院 学 研 職 計	計	教 院 学 研 職 計	計				
1616	8月6日～8月7日 (2日)	生物圏科学研究科 2 3 0 0 0 5 総合科学部 0 0 12 0 0 12 17	4 6 0 0 0 10 0 0 24 0 0 24 34											3	6	T	
1617	8月17日～8月17日 (1日)	生物圏科学研究科 2 0 0 0 0 2	2 0 0 0 0 2	安田女子大学 0 0 1 0 0 1 広島工業大学 0 0 1 0 0 1 広島女学院大学 0 0 1 0 0 1 比治山大学 0 0 1 0 0 1 広島国際大学 0 0 1 0 0 1 広島文化学院大学 0 0 1 0 0 1 6	0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 6	江田島青少年交流の家 受講者 4 0 0 0 0 4 0 23 0 0 0 23	4 0 0 0 0 4 0 23 0 0 0 23	0 0 0 0 0 0 0 23 0 0 0 23	0 0 0 0 0 0 0 23 0 0 0 23	0 0 0 0 0 0 0 23 0 0 0 23	0 0 0 0 0 0 0 23 0 0 0 23	0 0 0 0 0 0 0 23 0 0 0 23	0	0	S I		
1618	8月18日～8月20日 (3日)	生物圏科学研究科 2 0 0 0 0 2	6 0 0 0 0 6	鳥取大学 0 0 2 0 0 2 島根大学 0 0 1 0 0 1 山口大学 0 0 1 0 0 1 香川大学 0 0 3 0 0 3 愛媛大学 0 0 3 0 0 3 岡山大学 0 0 7 0 0 7 17	0 0 6 0 0 6 0 0 3 0 0 3 0 0 3 0 0 3 0 0 9 0 0 9 0 0 9 0 0 9 0 0 21 0 0 21 51									1	3	T C	
1619	8月23日～8月31日 (9日)	生物圏科学研究科 2 1 15 0 0 18	12 6 135 0 0 153											2	27	T	
1620	9月5日～9月7日 (3日)	生物圏科学研究科 2 9 3 0 0 14 グローバルキャリアセンター 0 0 0 1 0 1 環境安全センター 0 0 0 1 0 1 16	6 27 9 0 0 42 0 0 0 3 0 3 0 0 0 3 0 3 48											4	12	T C	
1621	9月8日～9月16日 (9日)	生物圏科学研究科 1 0 18 0 0 19	9 0 162 0 0 171											1	9	T	
1622	9月26日～9月30日 (5日)	生物圏科学研究科 1 0 0 0 0 1	5 0 0 0 0 5	香川大学 2 0 12 0 0 14	4 0 24 0 0 28								0	0	T I		
1623	10月3日～10月11日 (9日)	生物圏科学研究科 1 9 1 0 0 11 グローバルキャリアセンター 0 0 0 1 0 1 12	9 55 9 0 0 73 0 0 0 9 0 9 82	三重大学 0 1 0 0 0 1 鹿児島大学 0 1 0 0 0 1 2	0 9 0 0 0 9 0 3 0 0 0 3 12	つくばセントラル病院 1 0 0 0 0 1	9 0 0 0 0 9					5	77	R C			
1624	10月12日～10月14日 (3日)	生物圏科学研究科 1 3 2 0 0 6 工学研究科 0 1 0 0 0 1 7	3 9 6 0 0 18 0 3 0 0 0 3 21	AIMS留学生 0 0 10 0 0 10	0 0 30 0 0 30							3	9	T C			
1625	10月18日～10月26日 (9日)	生物圏科学研究科 2 2 4 0 0 8 ナノデバイス・バイオ融合科学研究所 1 0 0 0 0 1 9	18 18 32 0 0 68 9 0 0 0 0 9 77	東京大学 1 0 1 0 0 2 東北大学 1 0 0 0 0 1 北海道大学 0 1 1 0 0 2 5	9 0 9 0 0 18 9 0 0 0 0 9 0 9 9 0 0 18 45	国立科学博物館 0 0 2 0 0 2 JAMSTEC 0 0 1 0 0 1 3	0 0 18 0 0 18 0 0 9 0 0 9 27				3	31	R C				
1626	11月7日～11月11日 (5日)	生物圏科学研究科 1 1 9 0 0 11	5 5 45 0 0 55										9	45	T C		
1627	11月14日～11月17日 (4日)	環境安全センター 2 0 0 2 0 4 生物圏科学研究科 0 1 0 0 0 1 工学研究科 0 2 1 0 0 3 8	5 0 0 8 0 13 0 4 0 0 0 4 0 6 4 0 0 10 27	神戸大学 1 0 0 1 0 2 佐賀大学 1 0 0 0 0 1 大阪府立高専 1 0 0 0 0 1 4	4 0 0 4 0 8 4 0 0 0 0 4 4 0 0 0 0 4 16							8	37	R C			

平成28年度(2016年度) 練習船共同利用拠点化における乗船実績

広島大学生物生産学部

整理 記号	航海期間	大学(含:準ずるもの)				大学外(その他)				余 席 数	延 べ 余 席 数	航 海 区 分	備 考		
		広島大学内		延べ人数		広島大学外		研究機関・企業等						延べ人数	
		教 院 学 研 職 計	延 べ 人 数 研 職 計	教 院 学 研 職 計	延 べ 人 数 研 職 計	教 院 学 研 職 計	延 べ 人 数 研 職 計	教 生 研 般 他 計	延 べ 人 数 研 般 他 計					教 生 研 般 他 計	延 べ 人 数 研 般 他 計
1628	11月24日～12月18日 (25日)										0	0	D		
1629	1月21日～1月22日 (2日)	生物圏科学研究科 0 0 19 0 0 19	0 0 38 0 0 38								1	2	T		
1630	1月28日～1月29日 (2日)	生物圏科学研究科 0 0 20 0 0 20	0 0 40 0 0 40								0	0	T		
1631	2月1日～2月3日 (3日)	生物圏科学研究科 1 7 2 0 0 10	3 21 6 0 0 30								10	30	R C		
1632	2月4日～2月5日 (2日)	生物圏科学研究科 0 0 19 0 0 19	0 0 38 0 0 38								1	2	T		
1633	2月16日～2月17日 (2日)	生物圏科学研究科 3 7 1 0 0 11 大学本部 0 0 0 0 5 5 16	4 11 2 0 0 17 5 5 22								4	18	R C		
1634	2月20日～2月28日 (9日)	生物圏科学研究科 0 0 14 0 0 14	0 0 126 0 0 126								6	54	T		
1635	3月7日～3月14日 (8日)	生物圏科学研究科 1 5 2 0 0 8	8 40 16 0 0 64	明星大学 0 0 1 0 0 1	0 0 8 0 0 8	葉山しおさい博物館 0 0 0 1 0 1 海洋生物研究会 0 0 0 1 0 1 NPO PLANT 0 0 0 1 0 1 3	0 0 0 8 0 8 0 0 0 8 0 8 0 0 0 3 0 3 19	12	69	R C					

教 院 学 研 職 計 教 院 学 研 職 計
51 85 199 8 5 348 199 396 834 50 5 1484
広島大学内 広島大学内
延べ人数 延べ人数

教 院 学 研 職 計 教 院 学 研 職 計
17 15 106 2 0 140 88 117 289 9 0 503
広島大学外 広島大学外
延べ人数 延べ人数

教 生 研 般 他 計 教 生 研 般 他 計 余 席 余 席
7 40 6 13 0 66 17 57 42 61 0 177 146 724
大学外 大学外
延べ人数 延べ人数

教 院 学 研 職 生 般 他 計
合 計 75 100 305 16 5 40 13 0 554

(内外国人 39人)

教 院 学 研 職 生 般 他 計
延べ人数合計 304 513 1123 101 5 57 61 0 2164

平成25年度(2013年度) 豊潮丸 運航実績表(2014.03.27)

広島大学生物生産学部

Main calendar table showing monthly activities, dates, and cumulative statistics for the 2013-2014 academic year. Includes columns for month, day, activity type, and cumulative counts for sailing days, stop days, and total days.

Detailed activity log table with columns for activity number, route, subject, purpose, and area. Includes sub-sections for '調査実習航海' (Investigation Practice Sailing) and '社会貢献航海' (Social Contribution Sailing), ending with a total of 171 days.

* 教育関係共同利用拠点に関する留意点: 共同利用は、原則として単位認定を伴う教育課程上の乗船実習を保有大学が利用大学に提供すること。教育には卒業研究や修士・博士論文研究指導を含む。

平成26年度(2014年度)豊潮丸 運航実績表 (H27.03.20)

広島大学生物生産学部

Calendar table showing monthly activities from April to March. Columns include dates, days of the week, and activity codes. Summary statistics at the bottom: Total 175 days, 190 days at anchor, 365 total days.

Main activity log table with columns: 整理番号 (整理), 航海区分 (航海), 授業科目 (授業), 航海目的 (航海), 航海海域 (航海), 代表者 (代表), 日数 (日数), 乗船者数 (乗船), 共同利用 (共同), 整理番号 (整理), 航海区分 (航海), 授業科目 (授業), 航海目的 (航海), 航海海域 (航海), 代表者 (代表), 日数 (日数), 乗船者数 (乗船), 共同利用 (共同). Includes sub-totals for '調査実習航海', '社会貢献航海', and 'ドック航海'.

* 教育関係共同利用拠点に関する留意点: 共同利用は、原則として単位認定を伴う教育課程上の乗船実習を保有大学が利用大学に提供すること。教育には卒業研究や修士・博士論文研究指導を含む。
* 単独航海とは他大学の学生のみが航海することを、混乗航海(教育05、07、10、13、特定&公開実習A(課題提供)、公開実習B(課題募集))とは保有大学の学生と一緒に他大学の学生が航海することをいう。その他の共同利用は、便乗航海とする。

平成28年度(2016年度) 豊潮丸 運航実績表 (2017/03/02)

広島大学生物生産学部

Main calendar table showing monthly activities from April to March. Columns include month, day, activity type (e.g., '公開B1(調査1)'), and summary statistics at the bottom: 合計 175 190 365.

○:日曜日 △:土曜日 ◎:祝日 ●:振替休日
* 定員20名(教員&学生)+船員12名。 臨時定員50名(平水区域・航行予定時間6時間未満)+船員12名。

Detailed itinerary table with columns for '整理番号', '航海区分', '授業科目', '航海目的', '航海海域', '代表者', '日数', '乗船者数', '共同利用', '整理番号', '航海区分', '授業科目(年次)', '航海目的', '航海海域', '代表者', '日数', '乗船者数', '共同利用'. Includes sub-totals for '調査実習航海', '教育実習航海', and '社会貢献航海'.

* 教育関係共同利用拠点に関する留意点: 共同利用は、原則として単位認定を伴う教育課程上の乗船実習を保有大学が利用大学に提供すること。教育には卒業研究や修士・博士論文研究指導を含む。
* 単独航海とは他大学の学生のみが航海すること。混乗航海【教育05、09、13特定&公開実習A(課題提供)、公開実習B(課題募集)】とは保有大学の学生と一緒に他大学の学生が航海すること。その他の共同利用は便乗航海とする。